

(3)-2 関西国際空港の存在・運用に係る環境監視計画の変遷

監視項目	測定・調査項目	調査範囲	調査点	2期供用開始後(H19.8)～		現行(R3.7末時点)	
				調査頻度	実施期間	調査頻度	備考
騒音	航空機騒音	大阪湾沿岸地域及び飛行経路周辺地域	11地点(常時) 10地点(定点)	常時観測	将来にわたり実施	常時観測 年1回程度	将来にわたり実施
	飛行経路・高度		数箇所	年1回程度 (当年度年1～4回)	運用開始3年後まで	年1回程度 (H28.9変更)	平成29年度から当面の間
低周波音	航空機の低周波音	大阪湾沿岸地域	数地点	常時測定	運用最大時の3年後まで	H24年度まで終了 (H25.8変更)	運用最大時の3年後まで
	窒素酸化物(二酸化窒素、一酸化窒素)、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、炭化水素(メタン、非メタン)、風向・風速 二酸化硫黄 窒素酸化物(二酸化窒素、一酸化窒素)、浮遊粒子状物質、風向・風速	空港島対岸部	1地点 2地点				
水質	透明度 水温、塩分、pH、DO、COD、T-N、T-P、 γ 077/ka、SS	空港島周辺海域	4点	年4回(四季)	運用開始3年後まで	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定した場合は、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
		内部水面海域	3点				
底質	泥温、強熱減量、粒度組成、pH、COD、硫化物、T-N、T-P	空港島周辺海域	4点	年2回 (夏季、冬季)	運用開始3年後まで	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定した場合は、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
		内部水面海域	3点				
海域生物	植物プランクトン	内部水面海域	2点	年4回(四季)	運用開始3年後まで	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定した場合は、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
	動物プランクトン	内部水面海域	4点				
陸生動物(鳥類)	底生生物	内部水面海域	3点	年3回 (春季、夏季、秋季)	運用開始3年後まで	年2回 (夏季、冬季)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定した場合は、着工前に速やかに内部水面(N1、N2)において年4回(四季)で再開
	漁業生物	空港島周辺海域	4点				
陸生動物(鳥類)	鳥類の飛来・生息	1期及び2期空港島内	定点及び調査ライン	3年ごとに1回	運用開始3年後まで	3年ごとに1回	運用最大時の3年後まで (令和元年度より再開)
	タカ類の渡り	空港島周辺海域	調査ライン	3年ごとに年4回		3年ごとに年1回	